



定例総会 まちづくり説明会 広報活動

▲第2回定期総会 令和4年5月開催



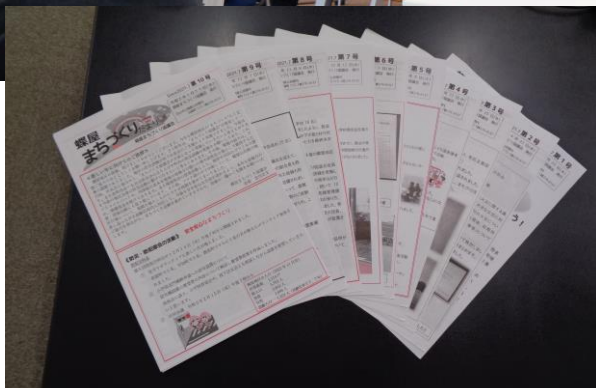
▲定期総会 代議員制



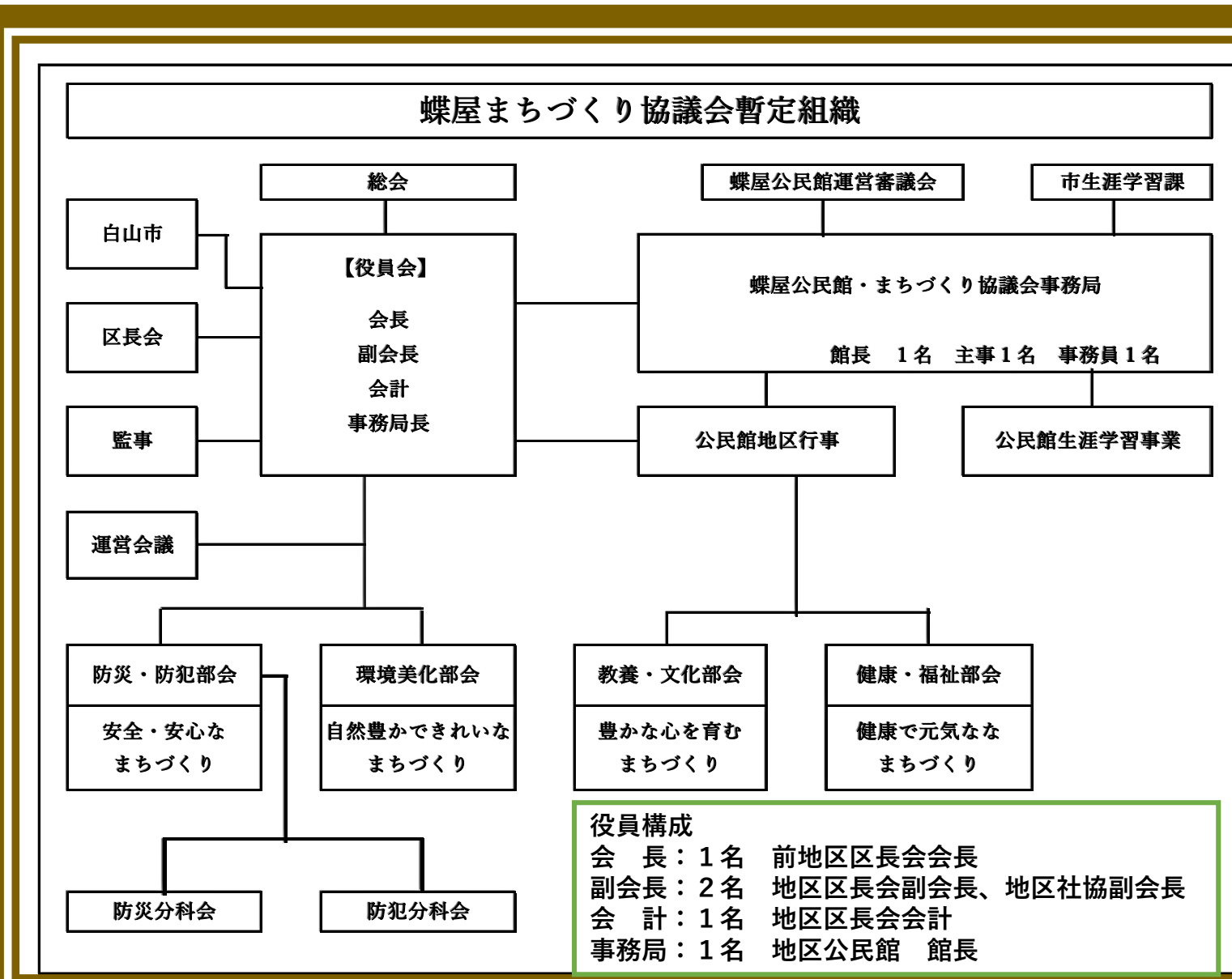
▲協働推進課からのまちづくり説明会



▲まちづくり便り発行 1号～10号



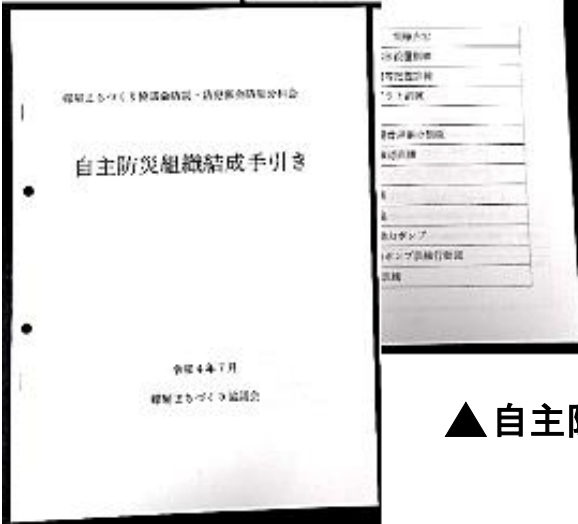
蝶屋まちづくり協議会 組織図





事例①—1 防災・防犯部会 防災分科会

自主防災訓練メニュー (訓練科目表)



防災会議・防災講座



地区防災訓練

▲ 自主防災会結成手引書

○取組内容

- ・部会での地区防災会議の実施(各町代議員、1回/月)
- ・防災意識の啓発、防災講座の開催(4月、11月の2回)
- ・地区防災訓練の実施(区長会主催で実施)
- ・地区各町内会自主防災組織の設立準備(4月～8月)
- ・地区自主防災会設立準備(9月～継続中)

★工夫したポイント★

- ・地区各町会の代表間の情報の共有
(会議資料・議事録・会議案内配布の徹底)
- ・区長会とまちづくりの連携の為の会議(1回/月)

○成果・展開

- ・各町会自主防災組織の結成手引書の編纂
- ・自主防災会の訓練マニュアル集の編纂
- ・地区主催での防災訓練(10月23日、参加1,195名)
- ・地区区長会との連携、“つながりが”できた。今後各町の災組織を通じて住民全体に防災意識をひろげていき、町とや地区の防災訓練大会を定例化していく事が必要

○課題

- ・各町代議員や区長さんの任期があり、1～2年ごとに交代される。活動が途切れないような体制の構築が必要。



事例①ー2 防災・防犯部会 防犯分科会

▲子供達への通学路へのアンケート



▲通学路危険個所の見守り活動

○取組内容

- ・部会での地区防犯会議の実施(1回/2ヶ月)
参加は地区防犯協会、こども見守り隊、警察
 - ・児童通学路、その他の危険個所の調査と対応
 - ①北陸線アンダーパスの狭い通学路での交通規制
(通学時間内の通行禁止の呼びかけ、白山警察の協力)
 - ②通行量の多い横断歩道の見守り活動をボランティアで開始
・通学路、見守りボランティアの増員。(各町への呼びかけ)
- ★工夫したポイント★
- ・地区区長会や学校及びPTAとまちづくり活動の協力・連携、
 - ・通学路のこども目線での危険度調査

蝶屋小学校5、6年生の皆さんへ

今回、皆さんが通学時に利用する「通学路」についてのアンケートにご協力をお願いします。日ごろ「通学路」を利用する皆さんが気づいたこと、どんなことでもかまいませんので、気軽にお答えください。

◆あなたは何年生ですか？

あてはまるもの一つに○を記入
(5年生・6年生)

◆あなたはどこの町内会に住んでいますか？

あてはまるもの一つに○を記入
(長屋町・末正町・手取町・
町・蓮池町・平加町・若草町)

◆あなたが利用する「通学路」に



▲地区内危険個所の修理

○成果・展開

- ・小学校付近の横断歩道に見守りをPTAと見守り隊の協働ボランティア活動として令和4年9月から開始
児童の登校時の安全が守られるようになった
- ・見守りボランティアが地区全体で5名増加、4月以降さらに4名増加の予定
- ・こどもたちが実際に感じている、通学路の安全性に対する問題点が明らかになり、今後、問題になった部分の対応を進める

★課題

- ・見守りボランティアの高齢化対応
地域児童の安全を守る活動(防犯、事故防止)推進



事例② 環境 美化部会

▲ 地元公園の美化整備活動



▲ 地元河川の清掃・調査活動



▲ 開花中のナデシコ



▲ 桜祭りの様子

▲ 地区海岸清掃・調査活動の様子



○取組内容

- ・早咲きの河津桜並木での桜祭り
- ・地区の公園の美化整備
(アプリコットパーク 48,000㎡) の美化整備事業、
- ・地区の海岸の環境汚染調査と清掃活動
地区海岸線での地域生活学校団体との協働事業
- ・地区内河川のゴミのポイ捨てによる汚染状況の調査と清掃活動

★工夫したポイント 地区住民団体への呼びかけ

○成果・展開

- ・4年3月～5月 芝桜500株、ナデシコ600株 水仙900球を移植、6月～9月、除草など育成活動を実施
 - ・4年9月、海岸の再清掃と調査、プラスチックごみの分類等の調査、6月末の市の清掃後3か月でまた100Kgのゴミが集められた。
 - ・4年11月、地区の桜名所横の河川の清掃と調査
空き缶や、プラスチックごみなどポイ捨てが目立つ
- 課題 今後も社会や地区住民への啓発が必要

事例③ 健康福祉部会・教養文化部会



▲スポーツ大会



▲体育大会



夏祭り



▲敬老会



文化祭



○取組内容

・健康福祉部会

- ①スポーツ大会の再開 ②地区体育大会の再開
- ③敬老会の再開

・教養文化部会

- ①夏祭りの再開(規模縮小) ②文化祭の継続開催

★工夫したポイント★

- ・地区住民との各大会・行事の再開についての、粘り強い話し合い(各部会とも4月より月1回実施)

○成果・展開

- ・コロナ過で中止となっていた、多くの地区行事を規模縮小ながら再開することができた、地区住民の交流、ふれあいの場作りができ、成果があったと感じる。

○課題

- ・地区各団体の高齢化が進み会員減少が続く中、地域行事を継続するには、地区住民の協力なしでは進まない今後とも住民との話し合いを継続できる仕組みが必要。